

水稻奨励品種「いただき」の品質が向上する玄米選別篩目

高冷地向き水稻奨励品種「いただき」は、玄米選別時の篩目を1.9mmにした場合、1.8mm篩選に比べて、未熟粒が減少することにより、整粒歩合が4%程度向上し、品質および検査等級の向上が図られる。なお、収量は、「ミネアサヒ」を1.8mmで選別した値と同等以上を示す。

農業研究センター 高原農業研究所 (担当者: 田中幸生)
農産園芸研究所 矢部試験地 (担当者: 春口真一)

研究のねらい

高冷地向き水稻奨励品種「いただき」は、小国郷を中心に「ミネアサヒ」に代わって平成13年産より本格的な作付けが始まった。平成13年産の「いただき」は「ミネアサヒ」より収量は30kg/10a以上多収で、1等比率も90%以上であった。

しかし、今後販売競争に打ち勝つ1つの方法として、品質の向上が求められている。そのため、品質を高める玄米選別時の篩目を明らかにする。

研究の成果

- 1 「いただき」は、「ミネアサヒ」より玄米の粒長・粒幅・粒厚が明らかに上まわる。また、粒形は「ミネアサヒ」より丸い(表1)。
- 2 「いただき」は、「ミネアサヒ」より玄米粒厚分布のピークが、0.1mm大きい(図1)。
- 3 「いただき」を1.9mmで選別した場合、1.8mm時よりも整粒歩合は4%程度向上する(表2)。
- 4 「いただき」を1.9mmで選別した場合、1.8mm時よりも心白・乳白が減少し、品質・検査等級が向上する(表3)。
- 5 「いただき」を1.9mmで選別しても、「ミネアサヒ」を1.8mmで選別した場合よりも同等以上の玄米収量を得ることが出来る(表4・図2)。

普及上の留意点

- 1 篩(グレーダー)目は、地域で統一することによって銘柄米確立につながる。

表1 玄米の形状(矢部試験地: H11~H13)

品種名	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	長/幅	長/厚さ
いただき	5.12	3.09	2.18	1.66	2.35
ミネアサヒ	4.94	2.93	2.08	1.69	2.38
コシヒカリ	5.08	3.00	2.08	1.70	2.45
あきげしき	5.20	3.04	2.19	1.71	2.37

注) 粒厚1.9mm以上の20粒について調査(3反復)

表3 篩い目別玄米品質(矢部試験地: H11)

施肥法	篩目	腹白	心白	乳白	品質	検査
		0~5	0~5	0~5	1~9	等級
標肥	1.8mm	0.5	1.0	0.8	4.0	3.0
	1.9mm	0.5	0.5	0.7	3.7	2.3
多肥	1.8mm	0.5	1.0	0.8	4.2	3.3
	1.9mm	0.5	1.0	0.7	3.8	2.7

注) 標肥: N 038kg/a 多肥: N 052kg/a

表2 篩い目別整粒歩合

場所・年産		1.8mm	1.85mm	1.9mm	1.95mm	2.0mm
高原農業 研究所 H13	整粒歩合	72	73	75	78	80
	千粒重	23.0	23.2	23.5	23.7	24.2
	検査等級	3	3	2	1	1
高原農業 研究所 H12	整粒歩合	78	79	81	82	83
	千粒重	23.6	23.7	23.9	24.2	24.4
	検査等級	2	2	1	1	1
小国町 H13	整粒歩合	78	79	82	83	84
	千粒重	24.3	24.6	24.7	24.8	25.1
	検査等級	3	2	1	1	1
久木野村 H13	整粒歩合	68	69	73	75	80
	千粒重	23.1	23.3	23.8	24.0	24.3
	検査等級	4	4	3	2	1
平均	整粒歩合	74.0	75.0	77.8	79.5	81.8
	千粒重	23.5	23.7	24.0	24.2	24.5
	検査等級	3.0	2.8	1.8	1.3	1.0

注) 検査等級は1等上(1)~3等下(9)を数値化した値

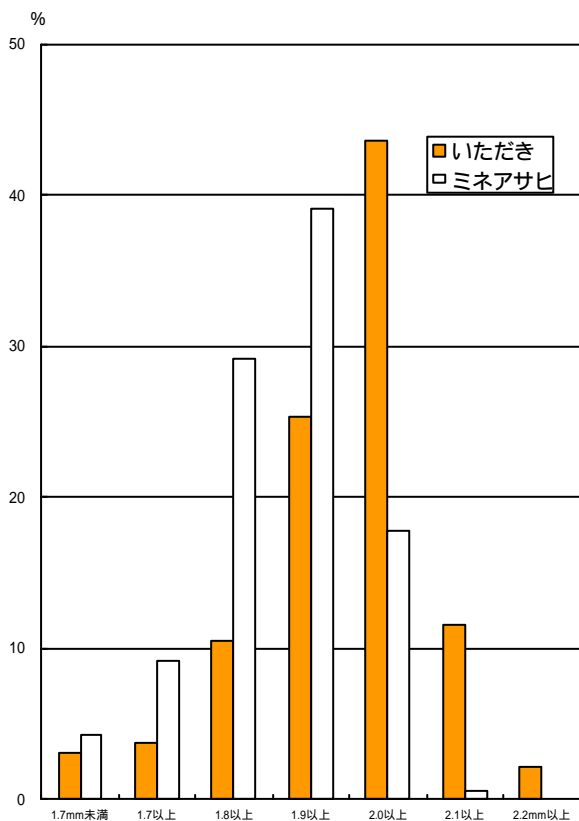


図1 粒厚分布(高原農業研究所: H10~H13)

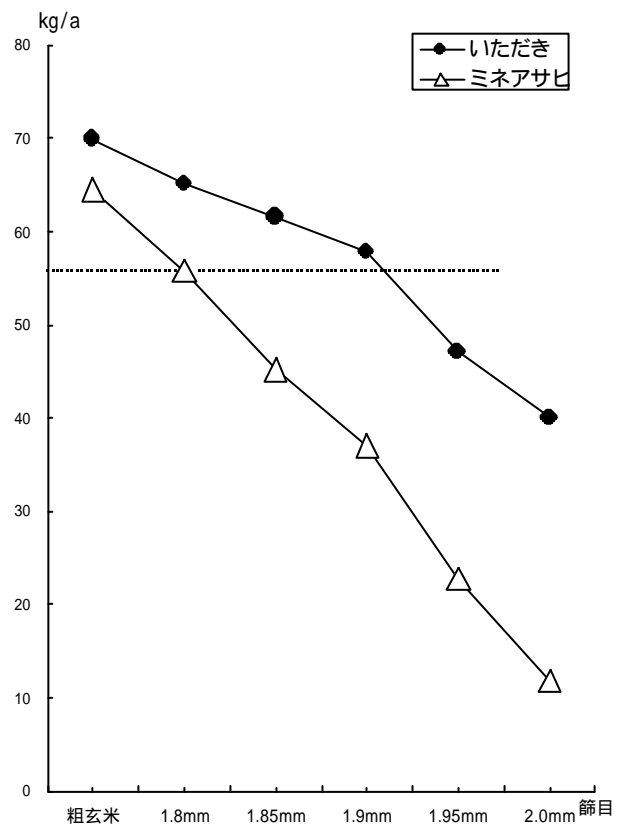


図2 篩い目別収量(高原農業研究所: H10~H13)